

メーデー宣言 (案)

本日、私たちは第86回広島県中央メーデーを開催した。

東日本大震災からすでに4年が経過したが、現在も約23万人もの人々が避難生活を余儀なくされている。また昨年8月に発生した広島市豪雨災害でも甚大な被害を被り、今も多くの被災者が自宅を離れた生活を強いられている。連合は、引き続き被災地の復興と再生に向けて全力を尽くすとともに、自然災害の教訓を決して風化させることなく被災地との絆を深め、安定的な雇用と安心な生活の確保に取り組んでいく。

一方、わが国の経済・社会は、格差の拡大、大幅な財政赤字、社会保障制度改革の遅れなど、依然として深刻な状況にある。私たちは2015春季生活闘争を最後まで闘い抜き、「底上げ・底支え」「格差是正」の実現を果たし、「デフレからの脱却」と「経済の好循環の実現」をはかっていく。

そして、労働者保護ルール改悪阻止と「全世代支援型」社会保障制度の確立などを求め、全国のメーデーで以下の対政府要求を確認し、「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーン第3弾の全国統一行動をスタートさせる。

- 一、労働者派遣法の改悪をしないこと。
- 一、実効ある長時間労働抑止策を導入すること。労働時間規制の緩和につながる労働基準法の改悪をしないこと。
- 一、公的年金制度の年金積立金の運用にあたって拠出者である労使の意思が確実に反映できるガバナンス体制を構築すること。

労働者を使い捨てにする“ブラック企業”問題が広がる時代にあって労働組合の必要性は益々高まっている。働く者の力をより大きくしていくためにも、あらゆる職場で労働組合をつくり、一人でも多くの仲間を増やして1000万連合の実現をめざそう。

本年は戦後・被爆70年の節目の年である。いまだ世界の多くの地域で紛争が勃発し、大量の核兵器が存在し続けている。世界で最初の被爆地となった広島から、核兵器の恐ろしさ、平和の尊さを全世界に訴え続けなければならない。戦争・被爆の体験を風化させることなく次世代へ継承し、「核兵器廃絶」と「世界の恒久平和」実現に取り組んでいく。

メーデーは労働者の国際連帯の日である。私たちは、国際労働組合総連合（ITUC）や諸外国の労働組合の仲間と連帯し、自由で民主的な労働運動とすべての働く者の幸福を実現するための取り組みを強化する。

「平和を守り、雇用を立て直す みんなの安心のため、さらなる一步を踏み出そう！」

本日結集した志を同じくする仲間との連携により、「働くことを軸とする安心社会」への扉を切り拓くことを、今ここに宣言する！

2015年4月29日
第86回広島県中央メーデー